

多言語・多文化社会論（社会・文化）

責任者：塩原良和 4月13日より毎週金曜2限 113教室

| 日付 | テーマ | 講師 | 文献 |
|------|--------------------------------------|-----------------|--|
| 4/13 | ガイダンス（授業の狙いと方法） | 塩原良和（東京外大） | なし |
| 4/20 | 多言語・多文化化する社会(1)外国人労働者と日本の労働市場 | 鈴木江理子（立教大学兼任講師） | 鈴木江理子「外国籍の子どもたちの教育 21世紀教育改革への問題提起」『多文化化する日本を考える 国境を越えた人の移動が進展するなかで』FIF Special Report No.8、2004年 鈴木江理子「『機会の平等』を超えて～『違い』を『プラス』とする教育へ」アジア・太平洋人権情報センター編『多文化共生の教育とまちづくり』解放出版社、2005年 |
| 4/27 | 多言語・多文化化する社会(2)職場における外国人労働者 | 五十嵐泰正（筑波大学） | 五十嵐泰正「日本で働くという経験 / 外国人と働くという経験」石井由香（編著）『移民の居住と生活』明石書店、2003年 |
| 5/11 | 多言語・多文化化する社会(3)都市と多言語・多文化社会 | 渡戸一郎（明星大学） | 渡戸一郎「多文化都市のポテンシャルと諸課題」端信行、中牧弘允、総合研究開発機構編著『都市空間を創造する 越境時代の文化都市論』日本経済評論社、2006年4月刊 |
| 5/18 | 多言語・多文化化する社会(4)エスニック・ビジネス | 橋本みゆき（立教大学兼任講師） | 宮塚利雄『日本焼肉物語』太田出版、1999年 |
| 5/25 | 多言語・多文化化する社会(5)ジェンダーと多文化社会 | 藤岡美恵子（IMADR） | 岡真理「ハーレムの少女とポストコロニアルのアイデンティティ」竹村和子編『“ポスト”フェミニズム』作品社、2003年 |
| 6/1 | 中間まとめ（ワークショップ） | 塩原良和 | なし |
| 6/8 | マジョリティを相対化する(1)日本社会の見えない「多文化」 | 倉石一郎（東京外大） | 木村晴美、市田泰弘「ろう文化宣言 言語的少数者としてのろう者」『現代思想』現代思潮社、Vol124-05、1996年 |
| 6/15 | マジョリティを相対化する(2)沖縄・小笠原諸島と日本 | 石原 俊（千葉大学） | 石原俊「移動民と文明国のはざまから ジョン万次郎と船乗りの島々」『思想』岩波書店、2006年10月号 |
| 6/22 | マジョリティを相対化する(3)多文化主義 | 塩原良和 | ガッサン・ハージ（保苺・塩原訳）『ホワイティ・ネイション』平凡社、2003年 |
| 6/29 | マイノリティの経験する「日本」(1)外国人住民への偏見 | イスラム・ヒム（会社経営） | 東京新聞2004年8月27日 |
| 7/6 | マイノリティの経験する「日本」(2)在日コリアンにおける民族文化振興活動 | 裴重度（川崎市ふれあい館） | 裴重度「これからは文化が民族性を保障する」『クォーターリー川崎 No.52』財団法人川崎市文化財団、1998年 |
| 7/13 | 講義のまとめ（ワークショップ） | 塩原良和 | なし |

多言語・多文化社会論（歴史）

責任者：野本京子 4月12日より毎週木曜1限 114教室

| 日付 | テーマ | 講師 | 文献 |
|------|-------------------------------------|------------------|--|
| 4/12 | ガイダンス（授業の狙いと方法 対象地域） | 野本京子（東京外大） | なし |
| 4/19 | 日本における多言語・多文化社会の歴史(1) | 米谷匡史（東京外大） | 仲間恵子「ヤマトウのなかのウチナンチュ」赤坂憲雄、中村生雄、原田信男、三浦祐之編『いくつもの日本 排除の時空を超えて』岩波書店、2003年 |
| 4/26 | イギリスにおける多言語・多文化社会の歴史 日本との比較の視点から | 佐久間孝正（立教大学） | 佐久間孝正「多文化、班差別の教育とその争点 イギリスの事例を中心に」宮島・梶田編『国際社会 マイノリティと社会構造』東大出版会、2002年 |
| 5/10 | 日本における多言語・多文化社会の歴史(2) | 野本京子 | 萱野茂ほか著『アイヌ語が国会に響く』草風館、1997年 |
| 5/17 | インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史 | 青山亨（東京外大） | 宮崎恒二・山下晋司・伊藤眞編『暮らしがわかるアジア読本 インドネシア』河出書房新社、1993年 |
| 5/24 | マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史 | 左右田直規（東京外大） | 綾部恒雄、石井米雄編『もっと知りたいマレーシア』弘文堂、1994年 |
| 5/31 | 日本における多言語・多文化社会の歴史(3) | 河路由佳（東京外大） | 河路由佳「近代日本の国語教科書に描かれた『日本語普及』 国定国語読本に現れる『国語』『日本語』の用例から」『東京外国語大学論集第72号(2006)抜刷』 |
| 6/7 | ブラジルにおける多言語・多文化社会の歴史 | 鈴木 茂（東京外大） | 鈴木茂「多文化主義のブラジル社会」『世界の労働』財団法人日本ILO協会、2006年10月号 |
| 6/14 | ロシア・東欧における多言語・多文化社会の歴史 | 篠原 琢（東京外大） | 別途配布 |
| 6/21 | アメリカ合衆国における多言語・多文化社会の歴史 | 佐々木孝弘（東京外大） | Joseph Boskin, Sambo: The Rise and Demise of an American Jester (New York:Oxford University Press, 1986) |
| 6/28 | カナダにおける多言語・多文化社会の歴史 | 大岡栄美（明治学院大非常勤講師） | 田村知子「アジア系移民の台頭と多文化主義の変容 - 多文化社会カナダで続く統合への挑戦」小倉充夫編『国際移動論』三嶺書房、157 - 179頁、1997年 |
| 7/5 | フランスにおける多言語・多文化社会の歴史 | 工藤光一（東京外大） | 三浦信孝編『普遍性が差異か:共和主義の臨界、フランス』藤原書店、2001年 |
| 7/12 | 講義のまとめ | 野本京子 | なし |

多言語・多文化社会論（言語技能入門）

責任者：川口健一 4月16日より毎週月曜2限 113教室

| 日付 | テーマ | 講師 | 文献 |
|------|-----------------------|--------------------------|--|
| 4/16 | 入門 のオリエンテーション | 川口健一（東京外大） | なし |
| 4/23 | コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー | 前田節子（心理カウンセラー） | “What does an interpreter do?” |
| 5/7 | 外国籍児童生徒支援者から見た教育制度 | 王慧瑾（多文化共生センター東京） | 別途配布 |
| 5/14 | 教育現場での通訳実践 | 王龍 藝群（兵庫県多文化共生サポーター） | 「外国人児童生徒にかかわる教育指針」平成12年8月兵庫県教育委員会 |
| 5/21 | 外国籍児童生徒の求める通訳支援 | 早川秀樹（多文化まちづくり工房）他 | 山脇啓造、横浜市立いちょう小学校編『多文化共生の学校づくり 横浜市立いちょう小学校の挑戦』明石書店、2005年 |
| 5/28 | 通訳から見た司法 | 川口健一 | 読売新聞朝刊 茨城版、2007年1月9日 |
| 6/4 | 司法現場での通訳実践 | 川口健一 | 同上 |
| 6/11 | 外国人にとっての医療制度 | 松野勝民（済生会神奈川県病院ソーシャルワーカー） | 別途配布 |
| 6/18 | 医療現場での通訳実践(1) | 前田節子 | “What does an interpreter do?” |
| 6/25 | 医療現場での通訳実践(2) | 前田節子 | “What does an interpreter do?” |
| 7/2 | コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(1) | 藤谷純子（武蔵野市国際交流協会コーディネーター） | 別途配布 |
| 7/9 | コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(2) | 西村明夫（MIC かながわ） | 『医療通訳を考える全国会議 2006 開催報告書』MIC かながわ発行、2006年5月 『医療通訳シンポジウム報告書』MIC かながわ発行、2007年1月 『ことばと医療のベストプラクティス』MIC かながわ発行、2006年1月 |
| 7/23 | まとめ | 川口健一 | なし |

多言語・多文化社会論入門

責任者：青山 亨 4月17日より毎週火曜 4限 113教室

| 日付 | テーマ | 講師 | 文献 |
|------|---------------------------|--------------------------|--|
| 4/17 | オリエンテーション(1) | 青山 亨 (東京外大) | なし |
| 4/24 | オリエンテーション(2) | 杉澤経子 (東京外大) | なし |
| 5/8 | ビデオ1 (フィリピンの親子の事例) | 塩原良和 (東京外大) | なし |
| 5/15 | 現場の声：日本で働くフィリピン女性 | アガリン長瀬 (KAFIN) | KAFIN ニュースレター他 |
| 5/22 | 現場の声：外国人の法的地位と在留特別許可制度 | 山口元一 (弁護士) | ななころびやおき著『ブエノス・ディアス、ニッポン 外国人が生きる「もうひとつのニッポン」』ラティーナ、2005年 |
| 5/29 | 議論：フィリピンの孤児院での支援から見える日本社会 | 横田 宗 (ACTION) | 別途配布 |
| 6/5 | ビデオ2 (ペルーの家族の事例) | 青山 亨 | なし |
| 6/12 | 現場の声：日系労働者受け入れの背景と労働の実態 | 講師未定 | 別途配布 |
| 6/19 | 現場の声：日系労働者から見た日本社会の問題点 | イシカワ・エウニセ・アケミ (静岡文化芸術大学) | 宮島喬・太田晴雄編『外国人の子どもと日本の教育 不就学と多文化共生の課題』東京大学出版会、2005年 |
| 6/26 | 現場の声：日本で働く外国人労働者の子どもたち | エレナズ・ジャラリ (亜細亜大学学生) | なし |
| 7/3 | 現場の声：在日コリアンの子どもたち | 宋 賢進 (東京朝鮮第二初級学校校長) | 別途配布 |
| 7/10 | 議論と発表：学生によるグループワーク | 青山 亨 | なし |
| 7/17 | 議論と発表：学生グループによるプレゼンテーション | 青山 亨 | なし |